

雫石高校雪上運動会に参加

寒い中熱い交流

1月25日（土）、本校生徒12名が雫石高等学校の雪上運動会に参加しました。昨年度より、雫石高校の皆さんが、本校の海の運動会に参加しており、冬は本校生徒が訪問させていただきました。

昨年度も参加予定でしたが、雪不足で雪上運動会が開催されず残念な思いをしました。今年度も開催が危ぶまれましたが、雫石高校の校庭には40センチほどの積雪があり、開催の運びとなりました。

種目は、「ドッジボール」「タイヤリレー」「綱引き」の3種目。当然のことながら、いずれも雪の上での競技。思うように雪に力が伝わらず、転んだり、進まなかったり…。笑い転げながらの競技になりました。雫石高校の皆さんからの応援も受け、楽しむことができました。

参加生徒の感想です。

〔福浦真穂さん〕

今回、とても良い交流ができました。私たち山田高校が競技しているとき、雫石高校の生徒の皆さんが応援してくれて、私たちも雫石高校の応援を全力でできました。雪が多いところでのならでの楽しみ方を体で感じることができました。

〔佐々木麻里さん〕

私たちが競技していると、雫石高校の皆さんが「頑張れ！」と応援してくれました。休憩中なども、雫石高校の皆さんが積極的に話しかけてくれて、とても温かい気持ちになりました。雪の多い地域ならではの「冬の楽しみ方や考え方」を学ぶことができました。

〔佐々木友花さん〕

綱引きでは、雫石高校の方が応援してくれたり、助っ人として入ってきてくれて、とても楽しかったです。綱引きで、何とか3位に入ることができました。競技後に、豚汁、餅、お菓子などをいただきました。豚汁がおいしくて3杯も食べました。帰るときに走って手を振ってくれる人がいたりして、とても良い交流になりました。今日のために色々準備して下さった雫石の皆さん、宿の方に感謝の気持ちをもって、今後に生かしていきたいです。

〔道又凜さん〕

どの競技も雪上故の難しさがあって、なかなか面白かったです。3時間にわたる競技の後の豚汁はとてもおいしかったです。色々なことが初体験でしたが、雫石の皆さんが教えてくれて、本当に助かりました。

〔佐々木海音さん〕

夏には沿岸でしかできない運動会、冬には内陸でしかできない運動会、両方を経験して沿岸と内

陸の両方の良さを改めて知ることができました。これからも雫石高校さんとの交流を大切にしていきたいと思ったし、来年も雪上運動会に参加したいと思いました。夏には、海の運動会で楽しい交流ができれば嬉しいです。

〔佐藤想さん〕

他校との交流に自分から参加するのは初めてだったけど、地域の特徴を生かした行事にお互い参加し合い、交流することができ、他の交流活動にも参加していきたいと思いました。

〔野崎みずきさん〕

どの競技もみんなで協力してできたし、綱引きでは雫石高校の方々が応援してくれて嬉しかったです。お昼の豚汁もすごくおいしかったですし、保護者の方々も優しく声をかけてくださってうれしかったです。

〔福士春佳さん〕

お昼を食べているとき、雫石高校の三年生の方たちが話しかけてくれて嬉しかったです。学校が違って交流を持つことで少しずつ仲良くなれるんだなと思いました。雫石高校の方たちは個性が強くてとても楽しそうだなと思いました。

〔田中春樹さん〕

パンフレットに雪上運動会が始まったきっかけが書いてあり、これは海の運動会などにも反映できるなと思いました。競技面だけでなく、ポスターやパンフレット作成なども、学校全体で取り組んでいることが分かりました。準備段階からの雰囲気作りの大切さを知りました。

〔西村美海さん〕

どの競技も雪で足をとられてしまって大変だったけど、雪の上での競技をする機会がなかなかないので、すごく楽しめました。

〔橋田隆輝さん〕

タイヤリレーでは、スタート直後はとてもよかったですのですが、その後抜かれてしまい、決勝まで行けませんでした。雫石高校の皆さんが応援をしてくれていたのでも、楽しむことができました。

〔長根凌菜さん〕

今回の交流をとおして、雪上運動会の楽しさ、雫石高校の生徒の皆さんの良さを感じる機会になりました。また機会があったら参加したいです。

